



日本共産党平塚市議会議員団

団長 松本 敏子

電話・fax 59-4607

mail@matsumoto-toshiko.jp

幹事長 高山 和義

電話・fax 31-4638

k.takayama@mb.scn-net.ne.jp

日本共産党平塚市議会議員団

電話 0463-23-1111 (内線 2375)

平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

No. 1707 2024年9月1日

日本共産党議員団の法律相談

今回は9月19日(木)です

午後2時~4時 (要予約)

● 議員団にご連絡ください。

9月議会(決算議会)はじまる

日付	開始時間	会議等	会場
8月27日(火曜日)	午前10時	本会議第1日(提案説明)	市庁舎本館8階
9月5日(木曜日)	午前10時	本会議第2日(総括質問日)	
9月6日(金曜日)	午前10時	本会議第3日(総括質問日)	
9月9日(月曜日)	午前10時	本会議第4日(総括質問日)	
9月10日(火曜日)	午前10時	本会議第5日(総括質問日)	
9月12日(木曜日)	午前10時	総務経済常任委員会	市庁舎本館8階 第1委員会室
		都市建設常任委員会	市庁舎本館8階 第2委員会室
9月13日(金曜日)	午前10時	教育民生常任委員会	市庁舎本館8階 第1委員会室
		環境厚生常任委員会	市庁舎本館8階 第2委員会室
9月20日(金曜日)	午前10時	本会議第6日(委員長報告、 表決等)	市庁舎本館8階

開始時間は都合により変更となる場合があります。

9月議会の主な議案

●議案第56号

平塚市付属機関設置条例の一部を改正

これまであった「平塚市立小学校及び中学校通学区域再編成委員会」に、新たに「平塚市立小学校及び中学校適正規模等基本方針検討委員会」を設置するというもの。委員は10人以内としています。今年の10月1日施行予定

●議案第57号

平塚市一般職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正

2024年度から、パートタイム会計年度任用職員として「部活動指導員」を配置しています。パートタイム会計年度任用職員は6か月未満の任用を想定し休暇等の規定がなかったが、部活動指導員は長期間にわたり任用する必要が生じたため、休暇等の規定を適用するため改正するもの。

●議案第58号

平塚市びわ青少年の家の設置及び管理等に関する条例改正

びわ青少年の家の利用対象者を拡大するため、「市内の10人以上の青少年団体」を利用対象としていたが、「市内」を削除、「2人以上の団体」とし、営利目的の利用を制限する文言を加えるというもの。

●議案第59号

平塚市立の学校の設置に関する条例の一部改正

平塚市立土屋幼稚園が、吉沢保育園と統合し認定こども園となるため、名簿から削

除するというもの。施行は2025年4月1日。

●議案第60号

平塚市袖ヶ浜デイサービスセンターの設置及び管理等に関する条例の一部改正

当センターは平成8年に設置。介護保険制度が始まることからモデルとして平塚市が設置し運営は民間に委託していました。現在市内には90か所からの通所施設があり、市の施設としては廃止するというもの。(現在の場所を大改修ののち、民間が借り受けて運営)

●議案第61号

平塚市七国荘の設置及び管理等に関する条例の廃止

老朽化と利用者の減少で「七国荘」を廃止し、今後は倉庫として利活用。

●議案第62号

工事請負契約締結

教育会館の耐震補強工事

契約の相手方：増田工業株式会社

契約金額：3億8,374万6千円

●議案第63号

損害の賠償について

市民病院における医療過誤による賠償

賠償額：5,772万4,467円



←今週の市役所ホールの生け花

9月議会の質問者

月日	順	議員名	会派名等	時間
9月5日 (木曜日)	1	諸伏 清児	清風クラブ	30分
	2	上野 仁志	公明ひらつか	30分
	3	山原 栄一	湘南フォーラム	30分
9月6日 (金曜日)	4	江口 ともこ	しらさぎ・無所属 クラブ	30分
	5	佐藤 貴子	清風クラブ	25分
	6	五十嵐 豊	公明ひらつか	20分
	7	小泉 春雄	湘南フォーラム	20分
9月9日 (月曜日)	8	渡部 りょう	しらさぎ・無所属 クラブ	22分
	9	須藤 量久	清風クラブ	20分
	10	石田 美雪	公明ひらつか	15分
	11	出村 光	湘南フォーラム	15分
9月10日 (火曜日)	12	黒部 栄三	清風クラブ	16分
	13	高山 和義	日本共産党平 塚市議会議員団	26分
	14	臼井 照人	無所属	25分
	15	佐藤 由美子	無所属	13分

2023(令和5)年度 決算 全会計の歳出 1,838億5,933万2千円

会計別歳出決算額の推移

区分	年度	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		決算額	構成比								
一般会計		82,459,903	55.8%	114,983,999	61.9%	102,069,968	57.9%	96,270,223	52.0%	95,274,092	51.8%
特別会計		65,276,504	44.2%	70,765,118	38.1%	74,343,510	42.1%	88,881,731	48.0%	88,585,240	48.2%
内訳	競輪事業	16,051,870	10.9%	21,875,202	11.8%	23,577,485	13.3%	37,819,932	20.4%	36,150,382	19.7%
	国民健康保険事業	26,058,737	17.6%	24,788,286	13.3%	25,908,321	14.7%	25,253,418	13.6%	25,492,753	13.9%
	水産物卸売市場事業	16,861	0%	15,486	0%	44,586	0.1%	15,214	0.0%	14,357	0.0%
	介護保険事業	19,771,678	13.4%	20,368,504	11.0%	20,987,414	11.9%	21,608,579	11.7%	22,727,881	12.3%
	後期高齢者医療事業	3,377,358	2.3%	3,717,640	2.0%	3,825,704	2.2%	4,184,588	2.3%	4,199,867	2.3%
合計		147,736,407	100%	185,749,117	100%	176,413,478	100%	185,151,954	100%	183,859,332	100%

総括表

年	千円				
	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5
住民基本台帳(人)	256,837	256,430	255,630	256,050	256,522
歳入総額	86,262,227	120,142,601	106,290,831	100,418,246	98,732,747
歳出総額	82,321,541	114,847,635	101,950,925	96,108,746	95,251,774
形式収支	3,940,686	5,294,966	4,339,906	4,309,500	3,480,973
翌年度財源	691,923	2,220,579	1,009,475	855,031	740,276
実質収支	3,248,763	3,074,387	3,330,431	3,454,469	2,740,697
単年度収支	549,272	-174,376	256,044	124,038	-713,772
実質単年度収支	1,298,051	-1,148,109	1,266,309	-421,762	-450,182
財政力指数	0.976	0.975	0.933	0.950	0.943
経常収支比率	96.4	96	90.2	96.7	96.4
公債費比率	4.7	4.9	5.3	6.6	6.4
積立金現在高	14,309,792	13,734,389	16,391,619	16,269,088	19,020,265
うち財調	7,712,505	6,738,772	7,741,537	7,132,621	7,396,211
地方債現在高	54,436,325	59,427,875	58,494,592	55,395,530	52,774,569
債務負担行為額	36,081,873	32,035,254	46,256,863	42,871,204	44,537,057

(上の総括表は、普通会計による推移です。)

地方債現在高(借金)は前年に比べ、26億2千万円減少していますが、学校給食センターの整備・運営や龍城ヶ丘プール跡地の公園整備・運営など、今後出てゆく予定の債務負担行為額が増加しています。また、積立金の現在高は前年度比で27億5千万円増加し、そのうちの

何にでも使える財政調整基金は前年度より2億6千万円増加しています。

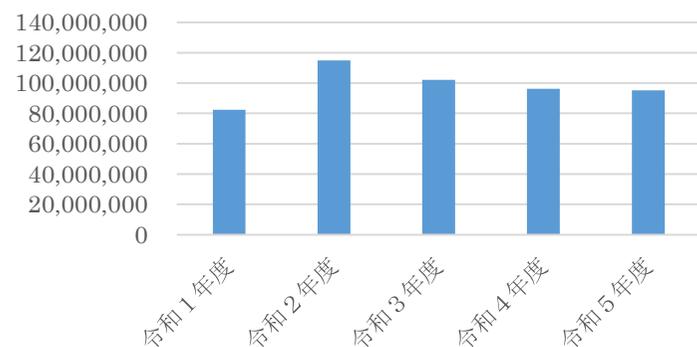
借金が減少し、積立金が増えることは財政的に余裕があるということになります。しかし、ここ数年来の物価の上昇とコロナ禍以前の景気が回復していないなかで、市民生活は大変厳しい1年でした。

今年度から会派代表による「決算特別委員会」ではなく、全議員が所属する各常任委員会で審議する「決算分科会」になる

2023年度決算は、4つの常任委員会に付託され、9月26日、27日は総務経済常任委員会・都市建設常任委員会で、翌週の9月30日、10月1日には教育民生常任委員会・環境厚生常任委員会でそれぞれ審議が行われます。

皆さんからも昨年度の予算執行に関し、是非ご意見をお寄せください。

一般会計



総括表を見るとわかるように、2020年の特別定額給付金や21年、22年の新型コロナウイルス感染症に関する国の補助・負担金が2023年度には減少し、歳入・歳出とも減っています。